

大学生を対象とした「原子力産業セミナー2008」の開催報告

(社)日本原子力産業協会では、2008年1月26日(土)、原子力産業界の理解向上および企業の新人採用を目的に、大学生を対象とした合同企業説明会方式の「原子力産業セミナー2008」を開催しました。

会場には、32社の原子力に携わる企業や機関が集まり、約240名の学生が参加し、活発な理解活動や就職活動が展開されました。

各ブースでは担当者から事業の説明や採用計画が説明され、講演会場では企業の責任者や若手社員から原子力産業の展望や業務内容についての講演があり、熱心に聞く学生の姿が見受けられました。

本セミナーは学生からの、「原子力産業に関する情報が乏しい。たとえ就職情報専門企業が主催する合同就職説明会に参加しても、原子力事業部門を紹介している企業が殆ど無い。」という意見をきっかけに、原子力のイメージの転換、学生と原子力産業界の橋渡しの手段の一つとして当協会が主催して開催しました。

原子力産業界は、保守の時代からリプレースの時代への備えとして企業活動のグローバル化が進み、優秀な人材を確保し技術・技能を維持・継承することが重要な課題となっている一方、少子化、理系離れが進み、好景気による学生の売り手市場であることなどより、多くの企業の協力を得て開催することができました。

開催概要 : <http://www.jaif.or.jp/ja/nis/2008/>

- ・日時：2008年1月26日(土) 10:00～18:00
- ・場所：新宿エルタワー30階サンスカイルーム

セミナーの特徴

- ・国内外の主要原子力企業・機関が参加
- ・原子力安全規制に関わる機関の参加
- ・国内の燃料メーカーが全社参加
- ・原子力理解促進の為の展示を併設
- ・講演：若手社員による講演、就職活動マナー講座 他
- ・58大学から約240名の学生が参加
- ・多様な学生が参加
 - 原子力・エネルギー関連学科約3割、機械・電気系学科約3割
 - その他、化学、情報、土木・建築、文系など幅広く参加
 - 女子学生約1割、高等専門学校生3%
- ・学生の高い関心
 - 95%の学生が原子力産業界の理解が深まったと回答
 - 約8割の学生が、興味を持った会社があると回答

参加企業・機関：32社

(株)アトックス、アレバジャパン(株)、(株)オー・シー・エル、関西電力(株)、
(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン、原子燃料工業(株)、
(独)原子力安全基盤機構、原子力技術(株)、原子力発電環境整備機構、原電事業(株)、
原燃輸送(株)、GE(ゼネラル・エレクトリック)エナジー、新日本空調(株)、中部電力(株)、
(株)千代田テクノル、(株)テネックス・ジャパン、(財)電力中央研究所、
(株)東京エネシス、東京電力(株)、東芝プラントシステム(株)、
東電環境エンジニアリング(株)、東電工業(株)、東電設計(株)、
(社)日本アイソトープ協会、(独)日本原子力研究開発機構、日本原子力発電(株)、
日本原燃(株)、(株)日立プラントテクノロジー、三菱電機(株)、三菱原子燃料(株)、
三菱マテリアル(株)、(財)若狭湾エネルギー研究センター

メディアの取材・放送・掲載等

- ・ 9社（NHK科学文化部、TBSテレビ、日経新聞国際部・科学技術部、東京新聞（中日新聞）、電気新聞、新潟日報報道部、エネルギーフォーラム、月刊エネルギー、原子力産業新聞、）

